

全東京写真連盟
撮影会写真コンクール
入賞作品集



審査対象 第40回新人モデル選抜撮影会

撮影日 2023年02月12日

審査日 2023年04月08日

審査員: HARUKI 先生



金賞
「菩薩のように微笑んで」
高橋 壯太 様
モデル 吉野 愛加

審査員：HARUKI先生 講評

こちらの写真、実際の撮影は真冬2月とのことでしたが、春の日射しを感じさせるような柔らかな光線と風に揺れる髪の毛、モデルさんの屈託のない明るい表情がうまく捉えられています。この写真を見ていると世の中に脅威を振る舞っていたコロナの長いトンネルからようやく抜け出せる兆しが見えてきたかのような明るい未来を感じることが出来る前向きな作品となりました。モデルさんのバストアップ以外すべてを排除した画面構成ですが、この写真の持つ魅力のすべてはこのモデルさんの若さの中にある素からにじみ出た「明るい光」だと思わせてくれる1枚です☆



銀賞
「ニューフェース」
荒井 秀雄 様
モデル 梨帆

審査員：HARUKI先生 講評

モデルさんも写真のスタイルもまさにポートレート写真の王道とも云える組合せですがぱっとみて美しいと素直に感じる事が出来る作品です。ズームレンズ使用での焦点距離115mmという中望遠域の画角と前後の両方のボケ感を上手に活用されたカットです。プリントもとても丁寧で美しい仕上がりとなっております。和装もお似合いかと思えるこのモデルさんの良いところは透明感のある肌の美しさとキラキラした瞳にあります。その瞳の中に映る情報から撮影現場でのレフ板の当て方も見てとれるので撮影会スタッフの技術もあいまってのチーム入賞となりました☆



銅賞

「I wish」

小倉 良二 様

モデル 鈴木 さくら

審査員：HARUKI先生 講評

ほんの少し隠れるような仕草で壁に寄りかかり、遠くからそっとなこちらを見つめている。親に叱られた少女の目線のようにも、好きな人に近づく勇気が無い女性が彼を遠くからそっとな見つめているようにも、見方によってはいろいろと想像をかき立てられる不思議なシチュエーションです。こちら金賞作品同様なシンプルな画面構成ですが、前後にある壁（オブジェ？）による遠近感が加わっています。水平が傾いているのは意図されたのかも知れませんがこの場合はちょっと気になってしまうので真っ直ぐの方が良かったと思います。こちらのモデルさんは秘めたる可能性が今後どんな表現へ繋がるのかが期待したいところです◎



入選
「cherish this moment」
門間 正之 様
モデル Sakura



入選
「視線」
松岡 達雄 様
モデル 鈴木 さくら



入選
「素敵な笑顔」
佐藤 和明 様
モデル 吉野 愛加



入選
「幾何と横顔」
逢坂 誠俊 様
モデル 鈴木 さくら



入選
「瞬く風」
三井 直人 様
モデル Sakura



佳作
「笑顔が素敵な君」
田中 直久 様
モデル 吉野 愛加



佳作
「ねえ、お願い」
芝本 勲 様
モデル 優木 音葉



佳作
「輝く瞬間」
栗原 恵一 様
モデル 大橋 めりさ



佳作
「風に吹かれて」
中牟田 剛 様
モデル 大橋 めりさ



佳作
「木陰から」
鵜飼 典彦 様
モデル 詩音



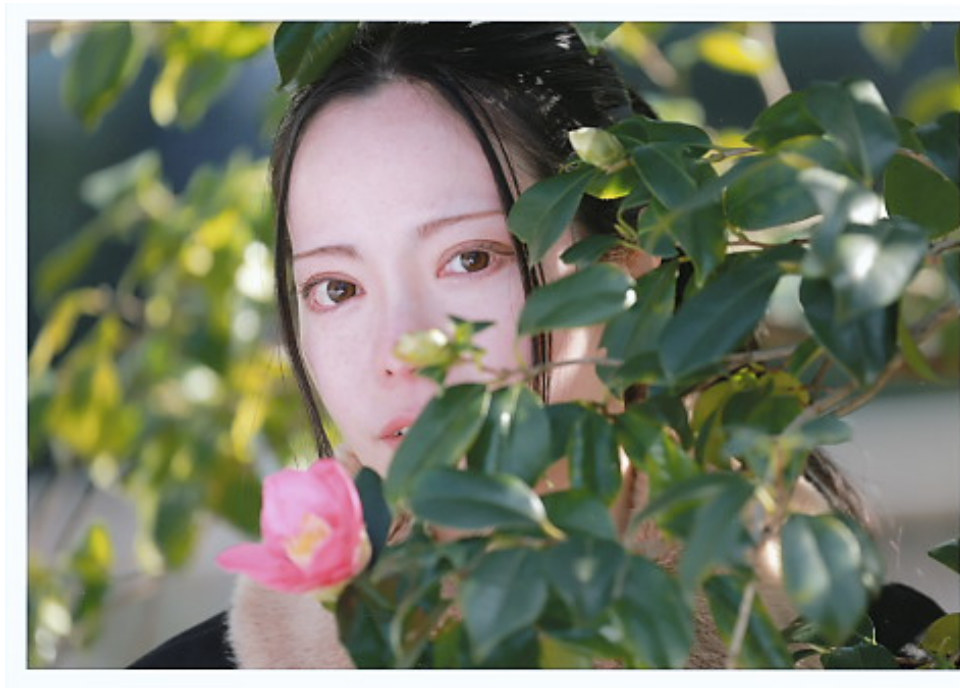
佳作
「ひととき」
内藤 勝之 様
モデル 花瀬 凜



佳作
「ポーズを決めて」
佐久間 裕史 様
モデル 花瀬 凜



佳作
「Cute（キュート）」
片桐 研一 様
モデル 詩音



佳作
「瞳」
桑原 良明 様
モデル 鈴木 さくら



佳作
「滝のべール」
北条 善久 様
モデル 野村 ひとみ



次点
「瀧」
湯原 章綱 様
モデル 野村 ひとみ



次点
「冬の舞」
小山 優 様
モデル 野村 ひとみ



次点
「シャボン玉が星くずの様に」
米沢 健二 様
モデル 鈴木 さくら



次点
「物思う」
山田 栄一 様
モデル 大橋 めりさ



次点
「はじめまして」
池田 道政 様
モデル 美冬



次点
「冬の日差し」
金澤 義夫 様
モデル 梨帆



次点
「赤いルージュ」
高橋 伸幸 様
モデル 大橋 めりさ



次点
「春到来」
岸野 孝博 様
モデル 花瀬 凜



次点
「照れ笑い」
武田 孝文 様
モデル 花瀬 凜



次点
「乱されて」
矢島 彰 様
モデル 大橋 めりさ

【 いろんなモデルさんを撮ってみよう 】

全東京写真連盟の新人モデルさんたちが今年も撮影会スタートされたようです。選出されたモデルの皆さん方、おめでとうございます！！今回、新人モデル撮影会を審査させて頂きました。モデルさんの能力や資質だけじゃ無くてもあくまでもカメラマンの腕前によるところも大きいのですが、上位入賞作品に入られたモデルさんはもちろん、惜しくも選外となった作品群にもたくさんの素敵な表現力を持ったモデルさんたちが参加されています。

応募作品を拝見しているとお一人のモデルさんを撮影されたプリント10枚で応募される方も数名いらっしゃいます。いわゆる「押しモデル無双」。それはそれでまったく問題無いですし自由です。一人のモデルさんを追求されるのは良いことです。だけどたまには気分を変えて今回はちょっと別のモデルさんとコラボレーションしてみるのも良いんじゃないかという提案です。いままではAさんしか撮らなかったけど、実はBさんの持つ魅力に気が付いたり、Cさんを撮ってみたら意外と良い作品が生まれたなんてこともあるかと思います。表現の可能性が広がるチャンスかも知れません。

これからの季節、撮影会には良いシーズンです。

新しいモデルさんたちと一緒に新しい試みへとチャレンジしてみてください☆

HARUKI